

第5問

A B C デリカフーズの始良工場では、製品甲を生産し、原価計算方式としては標準原価計算を採用している。
次の〔資料〕にもとづいて、下記の問に答えなさい。

〔資料〕

1. 原価標準（製品甲1個当たりの標準原価）の一部

製造間接費 900 円／時間 × 2.5 時間 2,250 円

2. 製造間接費予算（公式法変動予算）

年間変動費 24,000,000 円

年間固定費 84,000,000 円 年間予定機械運転時間 120,000 時間

3. 当月の生産実績

月初仕掛品 400 個 (40 %)

当月着手 3,400

合 計 3,800 個

月末仕掛品 300 (50 %)

完 成 品 3,500 個

（注）（ ）内は加工費の進捗度を示す。材料はすべて工程の始点で投入している。

4. 当月の原価実績

製造間接費 8,715,000 円 （実際機械運転時間 8,810 時間）

問1 当月の標準機械運転時間を計算しなさい。

問2 製造間接費の差異分析を行い、予算差異、能率差異（変動費と固定費の両方からなる）、操業度差異を計算しなさい。借方差異か貸方差異かを明示すること。